（別紙4（2））

事業所名：　認知症対応型共同生活介護事業所 サンホーム新谷

作成日：　平成30年3月12日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1(1)	全職員が日々の就業時に理念に沿った支援につながるよう、個人ごとに年度における理念に基づく具体的な行動目標を職員自身が立てることで、理念や目標を意識付けし、目標達成に向けまた理念の実践に向け更に取り組むことを期待する。	事業所職員が理念を理解した上で各職員の年度目標を設定しスキルアップを図る。	年度初めに各職員の理念を反映した年度目標の設定を行ない、年度末に振り返り・反省を行っていく。また、各職員の目標に沿った内外研修の参加を促しスキルアップを行っていく。	12ヶ月
2	4(3)	運営推進会議においてヒヤリハット、事故報告についても報告し、メンバーからの意見や提案を得るなど、ホームとしてより透明性の高い運営に取り組むことに期待したい。	ヒヤリハット、事故報告書の運営推進会議での文書での報告を行い透明性のある運営の取り組みを図る。	運営推進会議時、口頭ではなく書類を作成しヒヤリハット・事故報告を行い、メンバーから意見や提案を検討し反映したケアを行っていく。	3ヶ月
3	54 (20)	居室を入居者の自宅や居間と捉え、ポータブルトイレについては日中の未使用時には、本人の使い勝手を考慮しながら収納や目隠しを施すなど配慮する事が望ましい。	ポータブルトイレ使用者の居室の日中の配置を考慮し各入居者様のプライバシー保護を図る。	日中のポータブルトイレの配置を考慮し、目隠し・収納を入居者様・御家族・職員と検討し居室の環境整備を行う。	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。